令和８年度
市川市立市川小学校

経営デザイン

学校教育目標

夢の実現に向けて行動する子供の育成

学校経営方針

（１）一人一人を大切にし、児童が伸びやかに育つ学年学級経営
（２）自分の生き方について考えを深めるキャリア教育の推進
（３）自他の生命や人権を尊重する心、思いやりの育成
（４）基礎基本の確実な定着と主体的で互いに学び合う授業の創造
（５）生活習慣の確立や自立を促す健康教育・体力向上の推進
（６）保護者や地域との連携を深め、信頼される学校づくり

児童の姿

「行動する力」を持つ

問題や課題に向き合い、自ら考え行動する意識を高める

○きまりや学習など、物事の意味を考え、納得して取り組み、課題解決のための工夫ができる児童
○よりよい生活習慣や、体力向上を目指すことができる児童
○自己肯定感を持ち、他者を思いやり自分も大切にできる児童

重　点　目　標

探究的な学びの推進

○研究をもとにした、好奇心(やる気スイッチ)を揺さぶる授業の創造
○国語科教育・読書活動の充実
○体験学習(本物に触れる機会)の充実
○ＩＣＴの効果的な活用
○家庭学習と連携した学びの推進

言語能力の育成

○考えを明確に伝える力の育成
○「書く・読む」活動の充実
○新聞を活用した授業の推進
○児童相互の話し合い活動の充実
○学校・家庭・地域で「本に親しむ」

学習用端末の活用推進

○アナログとデジタルのハイブリッド化
○日常的なタブレット活用の充実
○家庭学習でのタブレット活用の推進
○コミュニケーションツールとしてのタブレットの正しい活用

子どもの健康と安全・安心の保障

○正課体育の充実
○ヘルシースクールの推進
○家庭と連携し、望ましい生活習慣の推進
○食に関する教育の推進
○安全教育の推進

誰一人取り残さない学びの保障

○効果的な教科担任制・交換授業の導入　○本音で語る道徳・人権教育の充実　○交流活動・交流学習を通した多様性を認め合える児童の育成　○児童に寄り添う指導・支援体制の充実　○児童や保護者との日常的な教育相談の充実　○不登校を未然に防ぐための連携及び支援の充実　○外国人家庭への支援

目指す教職員像　「まなぶ楽しさ、できる楽しさ、ともに過ごす楽しさ、教える楽しさ」を伝えられる教職員

①「児童の実態に即した学習・生活指導」「児童や保護者に寄り添うこと」ができる教職員　②資質向上のため研修に取り組むことができる教職員
③心身ともに健康な教職員　④誰に対しても、明るく爽やかな挨拶ができる教職員　⑤オンオフを大切にできる教職員